



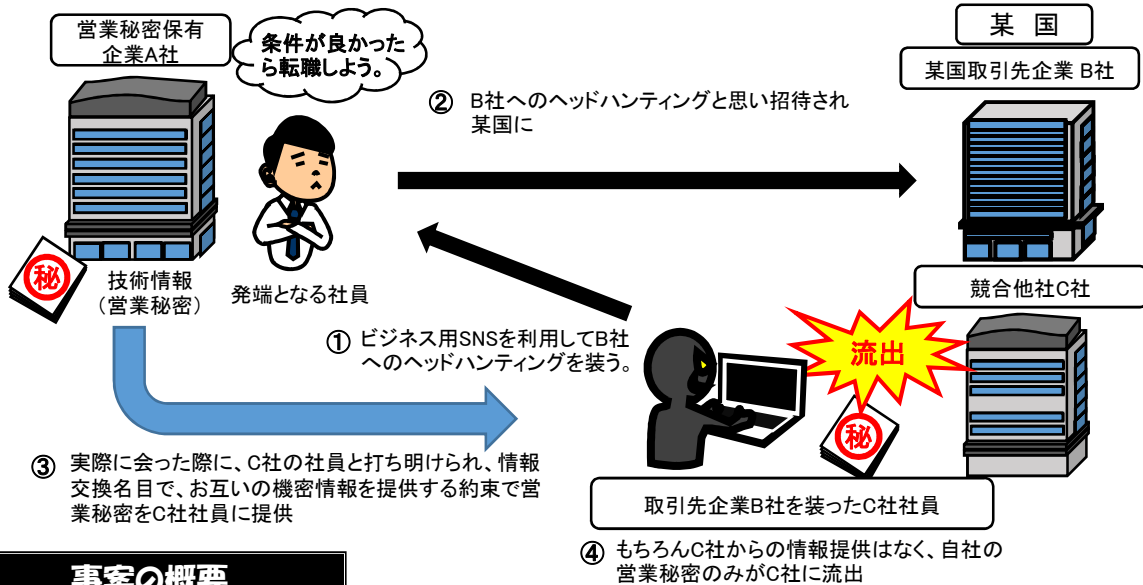
産業スパイの手法の紹介！！

産業スパイは、あの手この手を使ってあなたの営業秘密を狙っています。

神奈川県内には、優れた技術やノウハウを保有する事業者が多く存在します。

今回は、ビジネスSNSを通じて接触を求められ、機密情報を流出させてしまうケースについて紹介します。

取引先企業を装って接触



事案の概要

A社社員は、取引のあるB社社員とビジネス用SNSで出会い、ヘッドハンティングを打診され、B社が所在する某国へ招待される。

実は、このB社社員は、某国所在のC社社員で、A社社員と某国で実際に会った際にC社社員であることを告げる。

さらに、C社員は、情報交換名目で、A社の技術情報を送るよう求める。

A社社員も、自社にない技術を得て社内での自分の地位を高めたいとの欲求から、何か情報を引き出せるのではないかと、A社の技術情報をメールで送信するも、C社社員からの情報はなく、その後発覚し、A社社員は検挙され、解雇された。

ポイント

今回、接触に利用されたビジネス用SNSは、世界で6億件を超える登録があり、利用者は会社名や役職、学歴などを公開し、互いの仕事に役立つ情報を交換しています。

SEAGULL通信からのアドバイス

SNS等での交流は、商機のチャンスである一方、産業スパイにとっては、接触のチャンス。「秘密保持契約(NDA)の締結」前には、営業秘密を出さないように注意しましょう。



SEAGULL事務局(外事課内)

〒231-8403 横浜市中区海岸通2丁目4番 神奈川県警察本部

相談窓口

Email : seagull@police.pref.kanagawa.jp



市役所・銀行協会・警察官

電話で **キャッシュカード** と言われたら

ちょっと待って!!

神奈川県警察

それは **サギ!**